

平成 30 年 6 月  
第 383 号



クテの市 (日・木曜日営業中)



「田んぼの学校」5/13 (日)

“最後まで頑張って田植えしたよ”

おもな内容

- ・「田んぼの学校」 …P2
- ・旧大湫小学校の思い出 …P3
- ・茶摘み体験 …P4
- ・丸森だより …P5

# 田んぼの学校 5/13 (日)

ああ・・・！今にも雨が降りそうな空模様。  
あいにくの天気となりましたが、スタッフの皆さんが朝早くから準備してくださったおかげで無事「田植え」を終えることが出来ました。



受付後、スタッフのおじさんから「田植え」の簡単な説明を聞きました。



寒いよ～。

あ～！足が動かん



イネを3本ぐらい取って3本の指で掴んで植えるんだよ

昨年収穫されたお米を使って、おばさんたちがおいしいカレーライスを作ってくれました



残りはおじさんにまかせろ…



応援に駆けつけていただいた皆さん、釜戸小学校の校長先生ありがとうございました。スタッフの皆さんお疲れ様でした。

(参加者：総勢 65 名ほど)

# 旧大湫小学校

## 大湫小学校の思い出

渡邊貴憲

私がまだ子供だった頃、母親に手を引いてもらって小学校の校門を潜ってはや55年の歳月が過ぎてしまいました。あの頃は体格も小さくてランドセルは異常に大きかった記憶がありますが、ランドセルは誰に買ってもらったかの記憶は残念ながら蘇りません。ザンネーン。

今、思うと校庭はすごく大きく、運動会でも必死に走ったし、大勢の父兄が校庭をぐるりと囲むまで集まります。大きな運動場で、上級生の方と一緒にドッジボール、女子と一緒に“箱入れ”を校庭の至る所でやっていました。気に入ったタイルは、まるで宝物。とにかく私たちの学年は生徒10名とどの学年より少なかったのです。だから、保健室の一番奥の教室で十分。なんてたって女子4名・男子6名、そのうち1名の男子は日吉地区（北野）。だけど大湫小学校が近いため通っていたのです。



さて、一番の記憶は廊下がピカピカ、冬のストーブの燃料（亜炭の配給がありました）をリレー式に全校生徒が一行に並んで倉庫に運んだこと。あの時、校舎の裏の倉庫にあった壊れた机とか椅子を燃やし、だるまストーブが真っ赤になって大騒ぎ。低学年の時に毎日飲んだ脱脂粉乳、アルマイト食器、食パンの匂い。プールが無かったから西区の堤で泳いだこと、二階への階段はすごく広くキシム音がしていたこと。低学年の頃は上級生のすることを真似て通学途中、鞆糠を燃やしていた冬の行き帰りに小石をその中に入れ、取出して新聞紙に包んで懐炉の代わりにし、ポケットが凄く熱かったこと。悪いことはすぐ覚える。

小学校は無くなってしまったけれど、「脳内指紋」には残像記憶として残っています。

もう一度あの頃に戻りたいと願うは・・・歳を取った証拠ですかねえー。

次回は、足又区の宮地真美子さんです。

## 茶摘み体験 5/16 (水)

以前は、寺坂を登っていくとお茶畑が広がっていた。5月にはお茶工場からお茶の香りが春風にのって大湫町内に届けられていた。

今では、現在は営業していないが足立農園の茶畑があるだけ。寂しい・・・。

しかし、今日はここで茶摘みが行われました。そしてお茶作りが始まりました。



最初は  
蒸します



次は  
手もみ



続いて

フライパンでゆっくり煎って  
パリパリになるまで水分を取  
ります(繰り返し)



煎っている時から、なんとも  
いい香りが・・・！

旅人から「香りがよくて、  
おいしい」とお褒めの言葉を  
いただきました。



“ホッとする一時でした”

# 丸森だより

5月の丸森から

訪れた方 (5/23まで)

町外から		町内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
578	12	58	12	660	53
				昨年5月 781人	

(団体)

- \* 阪急ツアー2回 (51人、76人)、ウォーキングツアー6人、静岡健走会 13人
- \* 県事務所6人、ヒツバタゴ調査 9人

6月の丸森事業 から、 予定は、6/1~6/30

① 吉野家(加藤正光さん)の色紙絵を展示します



正光さんは、観音堂内正面にある菩薩様の絵も描かれています。  
(なお、ご希望の方にはお譲りしますので、丸森職員まで申し出てください。)

② 観音堂の天井絵「花鳥草木」の名前を教えてください



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A										
B										
C										
D										
E										
F										

約 170 年前に 三尾暁峯 氏によって描かれている絵「花鳥草木」の名前を完成させたいと思いますので、ちょっと丸森によって上の用紙にご記入ください。

③ 大型 TV で秋さのビデオを流します。

「大湫小 130 年の歩み」H17,3 制作、 10分ほど

とっても懐かしい人が出てきますよ。

丸森職員に声をかけていただければすぐ流します。

## リ・アッフ「ひよも」 5月2日(水)

消費者啓発推進委員の活動として、リ・アッフ「ひよも」に参加させていただきました。

今回は押し買いの寸劇とクイズ、替え歌による啓発を行いました  
参加者の方からは「身近に相談でき



る人がいない」、「うちに葉書や電話があった」などの声もあり、こうした啓発活動の重要性を感じました。

押し買いでもクーリングオフが出来ます。不審な電話や葉書が来たら市役所や警察、消費啓発推進委員に相談して下さい。そうすれば、広報やラジオなどを通じて他の方にも注意を促すことが出来ます。必要のないセールスはハッキリと「いりません」「電話しないでください」と言って下さい。一度ひっかかると何度も電話や訪問販売が来てしまいます。

みなさんが詐欺に引っかからないように啓発していきますので、困った時はなんでも相談して下さい。



リ・アッフ“ひよも”だより

6月のお茶のみ会のおさそい

日時：6月6日(水曜日)9:30~11:00頃まで  
場所：ふれあいセンター  
参加費：50円

今回は、笑いヨガ  
をやりますよ!

お待ちしております

## ビッグニュース… “ようこそ大湫へ”

嬉しいことにまた々、『若いファミリー』が2世帯も転入してくれましたよ！

今年の4月に、ご縁がありまして名古屋から大湫町に引っ越してまいりました、Hです。

一家は、夫婦と子供（3歳と4カ月の兄弟）の4人です。

越して早々の春の寒さとカメムシの大群にびっくりしつつもこの地で子供達が豊かに成長していくこと、また、家族にとって大湫がふるさとになることを楽しみに、生活をスタートさせました。

これからも末永く、どうぞよろしくお願い致します。

はじめまして、私は5月に足又に引っ越してきたA・Hです。家族は妻と長女（2歳）の3人家族です。

職業としては、8月から瑞浪市土岐町の方で冬春トマトの栽培を始めます。地域行事にも積極的に参加して行きたいと思いますので、ぜひ話しかけて下さい。よろしく申し上げます。

### 『布ぞうり作り（鼻緒）』しませんか？

日時：7月28日（土） 9時～12時

会場：ふれあいセンター 「いろり館」

持ち物： はさみ 、ものさし（30cm）

会費： 300円

教材・道具はこちらで用意します。

（山びこどん）

\*詳しくは配布した

チラシを見てください。

みんな、一緒に  
作ってみない？

## 緑深まる中、第2回目のモニタリング調査

5月27日（日）、第2回目の里地調査がおこなわれました。これは、環境省が進める調査で、日本全国の自然を長期にわたり観察し、自然の変化をつかもうとおこなわれています。

大湫「自然保全委員会」がこの調査に手を挙げ、昨年末に「モニタリングサイト1000里地調査」団体に決定され、第1回目（草本）を4月29日におこない、今回はその2回目。



ギンリョウソウ

調査地ルートには多様な植物が見られ、町外からの参加者も含めた、総勢9名は驚きの連続。「ここに、こんなものが」と。大勢で見ることによって、1人では気づかない植物が発見できます。

ギンリョウソウが見つかったときには、一堂「オー、これは珍しい」とびっくり。



前回の調査では、蕾だったシライトソウがすっかり花を咲かせています。絶滅危惧Ⅱ類（環境省）の指定となるカザグルマも名残りの花が数輪。これはやや特殊な場所に生育し、県内のどこにでも見られる植物ではありません。

この調査は毎月1回、第4日曜の10時から約2時間を充てることにしていますが、今回は3時間。シライトソウ、ノアザミ、ミヤコワスレ、カザグルマ、ナルコユリなど、前回調査時の蕾はどれも開花し、ウバユリ・クモキリソウ・イチヤクソウの蕾が見られました。

自然豊かな大湫の調査ルートでも、帰化植物が多く見られます。今回の調査で見つかったものに、マツバウンラン（北アメリカ）・ムシトリナデシコ（ヨーロッパ）・アカミタンポポ（ヨーロッパ）・アメリカフウロ（北アメリカ）など。

セイヨウタンポポ（ヨーロッパ原産）の花も随所で見られましたが、どっこい在来種のトウカイタンポポも散見されます。在来種の底力でしょうか。

（文責 長谷川）



六月の句

売家の小 さき立 札花 薊あざみ

山口雪子

山裾の馬頭観音ばとう

若葉風



五寸仏右手を天へ灌かん仏会ぶつえ

天野辰代

母の日に娘より届きし

贈り物



公民館講座

クラフトバンド（紙ひも）でカゴ作り

クラフトバンドを使ってカゴ作り。その基本を学びます。基本を学び、応用すればいろいろ作れるかも？きっと作れますよ。

日時：7月3日（火） 13：00～16：00

場所：大湫公民館（2階）

参加費：500円（材料費込）

持ち物：はさみ、木工ボンド、

洗濯ばさみ（10ヶ程度）、あれば文鎮

材料の用意のため事前に申込をお願いします。

☎：0572-63-2360

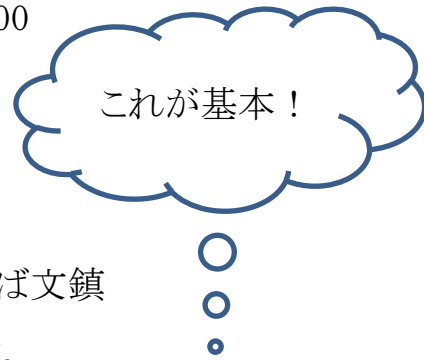
Fax：0572-63-0003

メール：ookute@ob.aitai.ne.jp

にて、お名前連絡先をお知らせください。

参加料は当日いただきます。

当日作る作品をどんなものにするかは、現在講師と相談中。6月中旬にチラシとHPにてご連絡します。



## みんなであつくり

### おゝくつの町

昭和六十一年に発足した大湫町の  
コミュニティ推進協議会の定期総会  
が、四月二十五日開催された。

構成員（町民）九十名の中、四十五  
名が出席された。半数の出席だが、こ  
れまで各行事に参画された方で、高齢  
のため出席出来なかった人もある。自  
分の町は自分達で守る意欲のある人  
が多く見られたのは心強い限りだつ  
た。

二十九年度の実績を反省すると共  
に今年の計画は一段と充実し、意欲が  
感じられた。昨年は公民館と丸森邸が  
指定管理制度の適用を受け、初めての  
試みで懸念されたが、関係者の努力で  
今後につながるよい結果が出た。

本年も「新森」「西森川」「米屋」と  
貴重な建物が有効利用を待っている。

市の支援やボランティア活動によつ  
て新しく生まれ変わろうとしている  
が、町外よりの移住者に期待し、地元  
も物心両面の協力をする事が不可  
欠である。

観光で町を活性化するのは難しい  
が、先人の残して呉れた歴史的遺産を  
掘り起こし、農業と結んで働く場所を  
つくることは、町の生き残りを賭けて  
若者の定着を促すための一策である。

何処の町村も人口の減少に悩んで  
おり、都市住民に憩いの場所を提供す  
ると共に、一人でも多くの人が大湫の  
地を気に入つて定着して呉れば努  
力の甲斐がある。

ストレスの多い都会より、子育て環  
境に恵まれた田舎に移住したいと思  
つても、働く場所もない田舎は敬遠さ  
れてしまう。

次から次と新しい計画を立てるの  
もいいが、大湫ならでの特産品をつく

ることを考えている。観光客のために、  
少しでも若い婦人層に土産物づくり  
に取り組んでもらいたいものだ。

忘れることが出来ない昔話を語つ  
て、実現出来たら素晴らしいと思う。  
八十年も前のこと、七・八歳の頃、前  
坂で雪すべりをして遊んでいた処へ、  
仙人のような出で立ちの老翁（信心氣  
違いと言われていた）が、本陣山を指  
さして「この山にケーブルカーを掛け、  
社をつくりたい。」と、集まった子供  
達に向かって真剣に話をされたのを  
忘れない。

三百六十度のパノラマは素晴らし  
い。星を眺めるのも最高である。凶ら  
ずも登山道をつくる計画があるのを  
知って、実現する  
ことを夢見てい  
る。



天野長三郎

# せらお H30 6月の集まるう会

大湫町コミュニティ  
推進協議会  
集まるう会

6月の太鼓は .....

★ 6月2日(土) 9時30分～練習、その後、自然の中で遊んだり、火田の手入れをしましょう。

★ 6月16日(土)

・「きなあた瑞浪」に太鼓出演します。

・9時15分はじまります。 〇現地集合...8時45分

・服装...はっぴ、はちまき、腰ひも、白いTシャツ、子どもは短パン、大人は、黒長ズボンです。

元気に、楽しく、さあ、始まりです!!

今、火田のようすは? .....

さつま芋  
火田

ファミリー  
菜園

森川さん(丸森さん)  
から借りた火田

スイカ  
火田

ファミリー  
菜園

みんなが育てています

※ さつま芋の苗うえは、5月26日にやりました。

※ 7月16日(祝)志多ら太鼓ワークショップとミニコンサート。

※ 7月21日(土)大湫病院納涼祭太鼓出演

# 大湫コミ・公民館からのお知らせ

## \*大湫宿お休み処

6月の営業は3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)です。  
皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL:0572-63-2455

## \*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

6月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9:00~AM11:00 : 営業場所 ふれあいセンター

### お願い(施設使用について)

公民館・ふれあいセンター使用申込後にキャンセルされる方は必ずご連絡ください。 TEL63-2360

### デマンド交通

利用者(大湫~日吉東部)

4月:40便 延べ84名

### 青色回転灯防犯パトロール

#### 6月のパトロール予定者



6/上旬:足立 亘

奥村 寛

6/下旬:三戸憲和

渡辺貴憲

### 「オオクテ・ツクルテ」

#### 実行委員会5/17

昨年開催後に町民の皆さんに「アンケート」を取らせていただいた結果(お知らせ済み)、『秋祭りとは別けて開催する』の意見が多かったこともあり、今年は11月10日(土)・11日(日)に決まりました。若い世代の方が転入されるきっかけとなったのもこの「オオクテ・ツクルテ」でした。この絆を大切に町民の皆さんにはご理解とご協力をいただき開催したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### オススメ!大湫分室の本『移住女子』

伊佐和美:著

「通勤が辛い」「もう少し自由に生きたい」都会から地方へ移住した、女子の今の暮らしが書かれています。新しい環境に戸惑いながら、いきいきと楽しむ姿が印象的です。

### ご招待券あります(各2名様)

○「デンマーク・デザイン」

期間:6月17日まで

会場:岐阜県現代陶芸美術館

○「花ふわり、月ひかり

—広重描く春花秋月—

期間:7月16日まで

会場:中山道広重美術館

## 区長日記

この四月には、区長会と花の森完成式、並びに町民パターゴルフ大会と、三度も水野市長さんの来訪を得、大湫町を盛り立てる力強いご挨拶をいただきました。また市議会議員の皆さん方も事に触れ折に触れ大湫を訪れていただき、個性ある大湫の活かし方を提案いただくとともに、時には戦力として汗を流して下さる姿を見ると、嬉しく、また頭の下がる思いです。

山上に取り残された百三十戸足らずの小集落を、常に忘れないで気にかけていただいている姿は、瑞浪市の隅々にまで神経を行き渡らせ、バランスある市の発展に寄与されるものと期待しております。

宿場町は元来、諸国から集まった人々の寄合所帯であり、甲州屋・江戸屋・伊勢屋など、出身地を名乗った屋号がそれを物語っています。新しい転入者を温かく受け入れる風土は、宿場町ならではのものですし、またそうでなければ地域の明日はありません。

新旧町民が心を合わせて紡ぎあげるまちづくり活動を、

神社仏閣をはじめとする恒例行事に取り組みながら、今年も積み重ねて参りたいと思います。

区長会長 足立

5月1日 釜戸中学校閉校記念事業実行委員会

5日 野田・足又農地点検作業

6日 みんなの農園圃場準備作業

9日 神田農地点検作業

17日 オオクテツクルテ実行委員会

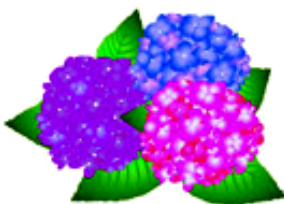
19日 生産森林組合通常総会

20日 長寿会奉仕作業・青少年育成市民会議

22日 瑞浪北中学校準備委員会

27日 古民家再生事業現場見学会・モニタリング

31日 釜戸中学校閉校記念事業実行委員会



平成三十年六月行事予定

予 定

日	曜	予 定
一	金	⑦ 定例区長・幹事会 脳とからだのリフレッシュ教室
二	土	集まるう会
三	日	本陣山登山道整備（夢づくり事業） 財産区全員会議
四	月	リ・アップ「ひよも」 消防団（操法大会壮行会）
六	水	市長と語る会／足又（五平餅作り） ⑧ 脳とからだのリフレッシュ教室
八	金	おしゃべりサロン ふれあいサロン開催
九	土	釜中授業参観（家庭学級講演会） 市消防操法大会
十	日	青少年育成町民会議
一二	火	釜中閉校記念（校舎・人文字航空 記念撮影会）
一三	水	釜中授業参観
一五	金	⑨ 脳とからだのリフレッシュ教室
一六	土	集まるう会大湫太鼓（きなめた）
一七	日	夏季奉仕作業／市主張大会 竜吟（保育参加・座談会・給食試食）
一九	火	釜小授業参観
二二	金	⑩ 脳とからだのリフレッシュ教室
二三	土	おしゃべりサロン
二四	日	モニタリングサイト調査（大湫の 里山植物調査）
二九	金	広報委員会
三〇	土	⑪ 脳とからだのリフレッシュ教室 市中体連

今月の資源ごみ: 6/21(木)不燃ごみ: 6/5(火)



編集後記

『ツバメが低く飛ぶと雨』というこ  
とわざがあります。

雨が降る前は空気中の水蒸気が増え  
ツバメの餌となる小さな虫たちのから  
だや羽も湿気って重くなり、高く飛べ  
なくなり、虫を追いかけるツバメも低  
空飛行をするからだそうです。

なるほど・・・！

ことわざには実生活に役立ち、時と  
して勇気をもたらす自然と元氣や前向き  
になることわざもたくさんあります。  
ひよっとしたら自分にぴったりのこと  
わざが見つかったりして・・・y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
平成30年6月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp/>